

## 『世界仏教文化研究』

### 論文募集のお知らせ

龍谷大学世界仏教文化研究センターでは、E-journal『世界仏教文化研究』（創刊準備号）を発刊いたします。

主に、以下の研究に関連する原著論文、翻訳研究を公募いたします。また、世界の仏教研究の動向、書籍や国際シンポジウム、研究者などの紹介記事も受け付けます。

- ❖ 大蔵経をはじめとした仏教の古典籍や歴史・美術考古資料を中心に検討した研究
- ❖ 異文化交流や宗教間対話など学際的なコンテキストの仏教研究
- ❖ 社会における仏教の役割や現代的意義の検討およびその実践にかかわる研究
- ❖ 翻訳研究：仏典テキストの校訂や現代語訳を試みる訳註研究

※ 本 E-Journal は、英文論文の投稿を積極的に受け付けます。

#### 【投稿資格】

本センターの研究にかかわる国内外の博士号取得者あるいはそれと同等の学力を有する者（投稿者は、本学専任教員の推薦及び編集委員の承認を必要とします）。

#### 【投稿規定】

原稿制限文字数は、図および表を含めて、20,000 字（英文 6,000 語）程度とします。書式設定等に関して、詳しくは本センターweb サイトに記載の「投稿に関する内規」および「執筆要領」、「スタイルシート」（<http://rcwbc.ryukoku.ac.jp/publications/>）を参照してください。

【原稿締切日】 2016 年 7 月 31 日（日）

【投稿先】 龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal 編集委員会  
[rcwbc-ejournal@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:rcwbc-ejournal@ad.ryukoku.ac.jp)

※ 詳細は、龍谷大学世界仏教文化研究センターweb サイトを御覧ください。

# 龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal

## 『世界仏教文化研究』

### －発刊の目的－

龍谷大学世界仏教文化研究センターは、現代社会における切実な諸課題にも応え得る、国際的な仏教研究拠点の形成を目指し設立されました。グローバル化し、知識が情報化する現代社会において、本センターは、仏教を通じた学術研究の遂行を通じて、社会へ広く貢献していくことを重要な使命としています。世界に開かれたセンターとして、今後活動を進めていく中で、E-journal(電子ジャーナル)による、研究成果の発信は欠かすことができません。また今後、本センターが、海外の研究者・仏教者・宗教者との相互交流を進め、世界各地の大学・研究機関等とセンターとの連携を促進する上でも、E-journalによる広汎な情報発信は大変重要な事柄であると、我々は考えています。

国際化・高度情報化という世界の流れに乗り遅れることなく、本センターも、ここにE-journal『世界仏教文化研究』を発刊いたします。本誌を通じて、我々は、長い仏教研究の歴史をもつ龍谷大学がこれまで蓄えてきた仏教に対する知見や特色をさらに進展させ、積極的に世界へ発信していきます。そして、国際的研究交流をより一層推進し、現代社会に生きる人々が抱える諸問題を解決する手だてを探っていきます。

価値観が多様化あるいは複雑化した現代社会においては、何が「真実」であるかが分かりづらくなっています。そのような中、専門的な仏教研究論文はもとより、世界の各所で生じている切実な諸課題に応え得る指針となるような研究論文を、本誌では掲載していきます。また、2500年を越える時の中で、さまざまな地域に伝わり定着した仏教を「世界的視野」から研究した論文、もしくは仏教に関連した種々の研究論文も、広く募って参ります。

さらには、仏教書籍の紹介(書評)や、本センターによる講演会の発表原稿を論文化したものなども掲載していく予定です。その他、仏典テキストの翻訳にも力を入れていきます。加えて、本誌では特に英語での投稿論文を歓迎いたします。

今後、我々は『世界仏教文化研究』を通じて、仏教研究の国際的プラットフォームの形成を目指し、仏教研究の更なる発展に寄与していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

龍谷大学世界仏教文化研究センターE-Journal 編集委員会

編集委員長 能仁正顕

2016年7月1日